

令和 7 年度

鯖江市総合防災訓練（新横江地区）

実施要綱

日 時 令和 7 年 1 1 月 9 日（日）

午後 4 時 0 0 分から 8 時 0 0 分

場 所 新横江地区各町内

新横江公民館

令和7年度 鯖江市総合防災訓練（新横江地区）実施要綱

1 目 的

大規模災害の発生を想定し、地域防災計画および近年発生した災害の諸課題に対応する訓練を実施することにより、防災関係機関等の連携体制を強化すると同時に、住民が自主防災の意義を再認識し、防災意識の高揚を図って、昨年発生した能登半島地震をはじめとする過去の大規模災害が風化しないよう銘記することを目的とする。

2 日 時

令和7年11月9日（日） 午後4時00分から午後8時00分（小雨決行）

3 会場・訓練対象地区

訓 練 会 場 新横江地区各町内
新横江公民館

4 共 催

新横江地区区長会
鯖江市

5 訓練参加機関・団体（順不同）

福井地方気象台、鯖江市赤十字奉仕団、知立市、鯖江・丹生消防組合、鯖江消防団、鯖江市建設業会、鯖江市国際交流協会、NTT西日本株式会社、北陸電力送配電株式会社、夢みらい館・さばえ、福井県エルピーガス協会鯖江支部、福井県民生活協同組合、福井県農業協同組合、北陸電気保安協会、鯖江市造園業協会、防災士ネットワークさばえ、鯖江市防災リーダー交流会、株式会社ダイドードリンコ北陸、北陸コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社 オーイング、鯖江市聴覚障害者友の会、鯖江市視覚障害者福祉協会、株式会社BLESS、KOSEI株式会社

6 訓練想定

令和7年11月9日（日）午後4時00分頃、鯖江市東部地区を震源とする震度6弱の地震が発生。市内各地で家屋の倒壊、道路・橋梁の損壊、電気・通信・水道等のライフラインや交通機関の施設等に甚大な被害が発生している。

各地区住民は、一時避難所へ避難し、町内にて住民の安否等被害情報を確認後、自宅等が被災して日常生活を営むことが困難な住民は、指定避難所へ避難を開始する。

7 訓練内容

【各町内】避難・安否確認等

【地区】被害情報収集訓練、避難所設営・運営訓練

【市】災害対策本部設置・運営訓練、避難指示発令訓練、緊急情報配信訓練

現地対策本部（基地）設置訓練、避難所設置・運営訓練

炊き出し訓練、土砂災害等被害状況調査訓練、ライフライン復旧訓練、道路啓開訓練、応急給水訓練、外国人避難訓練、ペット同行避難訓練、災害応援協定団体との連携訓練、要配慮者避難対応訓練

《体験・展示》

気象観測装置等体験・展示、応急手当体験・展示、非常持ち出し品展示、感震ブレーカー実演・展示、非常食試食・展示、住宅耐震診断、災害用伝言ダイヤル体験・展示、起震車体験、避難所生活体験・展示

【展示・体験コーナー】

N o	団体名	内容
	《体育館》	
①	N T T 西日本株式会社	特設公衆電話・災害用伝言ダイヤル体験・展示
	《会議室》	
②	福井地方気象台	気象観測装置等体験・展示
③	鯖江消防団機能別分団（警防広報班）	応急手当体験・展示
④	夢みらい館・さばえ	避難生活用品体験・展示
⑤	北陸電気保安協会	感震ブレーカー実演・展示
⑥	株式会社 B L E S S	非常食試食・展示
⑦	鯖江市施設管理課	住宅耐震診断に関する展示
	《調理室》	
⑧	鯖江市赤十字奉仕団	炊き出し体験
	《玄関ホール》	
⑨	鯖江市防災リーダー交流会	防災に関する展示
	《駐車場》	
⑩	鯖江・丹生消防組合	起震車体験
⑪	K O S E I 株式会社	トイレカー展示

【避難所設営・運営訓練】

N o	団体名	訓練想定内容
⑫	防災士ネットワークさばえ	避難所運営訓練指導
	《体育館》	
⑬	鯖江市聴覚障害者友の会	障がい者避難対応訓練
⑭	鯖江市視覚障害者福祉協会	
⑮	鯖江市国際交流協会	外国人避難対応訓練
⑯	福井県エルピーガス協会鯖江支部	炊き出し用燃料（LPG）搬送訓練
⑰	福井県農業協同組合	炊き出し用食材（米穀）搬送訓練
⑱	福井県民生活協同組合	炊き出し用食材（食品）搬送訓練
⑲	株式会社ダイドードリンコ北陸	応急給水訓練（飲料水：ペットボトル）
⑳	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	応急給水訓練（飲料水：ペットボトル）
㉑	鯖江市造園業協会	応急対策訓練
㉒	株式会社 オーイング	ドローン活用訓練（被害状況調査）
	《駐車場》	
㉓	北陸電力送配電株式会社	低圧発電機車送電訓練
㉔	知立市（愛知県）〈鯖江市上下水道課〉	応急給水訓練（給水車）等
㉕	鯖江市	ペット同行避難受け入れ運営訓練
	《公民館周辺》	
㉖	鯖江市建設業会	道路啓開訓練
	北陸電力送配電株式会社	

時間	事象	各町内	市職員
16:00	地震発生	エリアメール・一斉配信メールにて地震発生を周知	
		自身の安全確保 揺れがおさまったら家族の安否や火元の確認	自身の安全確保後、課長に安否報告 課長は部長に報告
		一時避難場所へ避難 (非常持ち出し袋の携行) 自主防災組織の立ち上げ 町内の安否・被害情報収集 ⇒避難所スタッフに状況報告 ※避難者多数⇒避難所開設要請	本部員および避難所要員（新横江地区）にTeamsで招集指示（震度6弱以上の地震発生） 職員非常参集訓練：課長参集 ⇒参集確認後解散
		町内独自の訓練 (備蓄品・防災資機材の点検、消火訓練、 応急手当訓練、炊き出し訓練等)	【災害対策本部運用訓練】 ≪災害対策本部≫ ＝事務分掌に基づく本部機能を構築・運用＝ 避難所所長等と連絡調整 ⇒避難所開設指示 ≪避難所要員≫ 指定避難所である新横江公民館へ参集 公民館の安全確認を実施し、災害対策本部に報告 災害対策本部の開設指示を確認 避難所開設の準備 ＊避難ボックスの準備 ＊備蓄品・防災資機材の確認 等
17:00	避難所 開設発令	結ネット・一斉配信メール・ホームページ等で指定避難所開設を周知	
		各町内【区長＋9名以上】 新横江公民館へ	本部員は訓練視察
	体験・展示		公民館内にブースを開設
17:20	屋外の訓練		道路警戒訓練等 開始
17:30	避難所 開設・受付	市の避難所運営スタッフと合流し、避難所 を開設し受付開始	≪避難所要員≫ 避難所を開設し、避難者の受け入れ開始
	避難所 運営	避難所運営訓練 ①受付後、落ち着いた時点で避難所管理・ 運営委員会を立ち上げる ②各活動班を編成する ③各班ごとに活動	避難所運営訓練 ①受付後、避難所管理・運営委員会を立ち上げる ②災害対策本部へ避難所開設の報告 ③災害対策本部へ避難所の状況報告 ④避難所運営の支援
18:55	講師の総括	◆講師◆ 北村育美 氏 福島大学地域未来デザインセンター さすけなぶる研究会 客員研究員	
19:00	市長講評	訓練の講評	
	防災講話	福井地方気象台：上田義浩氏 「（仮）防災と気象について」（10分～15分）	
	巡回評価	各班の活動の成果を確認する	
	炊き出し試食	日赤奉仕団が炊き出し訓練で作成した食事を試食	
20:00	訓練終了	後始末	